

授業科目 運動機能解剖学

【担当教員名】 阿部 薫	対象学年	1	対象学科	義肢装具自立支援学科
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：G I O>】
四肢・体幹の機能解剖学として、筋の起始・停止、作用、および神経支配を学習する。

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】

1. 機能解剖学の基本的事項について説明できる。
2. 四肢の筋の起始・停止、作用、および神経支配について説明できる。
3. 体幹の筋の起始・停止、作用、および神経支配について説明できる。
4. 四肢・体幹の動きの分析について説明できる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	機能解剖学の基本的な知識	1	講義
2	肩甲帯	2	講義
3	肩関節	2	講義
4	肘関節と橈尺関節	2	講義
5	手関節と手 1	2	講義
6	手関節と手 2	2	講義
7	上肢の動きの分析	4	講義
8	股関節と骨盤帯 1	2	講義
9	股関節と骨盤帯 2	2	講義
10	膝関節	2	講義
11	足関節と足 1	2	講義
12	足関節と足 2	2	講義
13	体幹と脊柱	3	講義
14	体幹と下肢の動きの分析	4	講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	身体運動の機能解剖学改訂版	中村千秋ほか訳	医道の日本社	2002年 4300円
参考書	基礎運動学第6版	中村隆一ほか	医歯薬出版	2003年 6800円
その他の資料	プリント			

【評価方法】 授業出席／態度、小テスト、筆記試験により、総合的に評価する。	【履修上の留意点】 義肢装具および福祉機器・用具を理解する上で、基本となる重要な分野のため、よく復習し、完全にマスターすることが望まれる。
--	--

義肢装具自立支援学科 専門